

九州ブロックの社会資本の重点整備方針

目 次

九州地方の現状と課題

1.九州地方の特徴	1
2.九州地方における近年の状況変化	1
(1) 東アジアの著しい経済発展と九州との交流拡大	1
(2) 本格的な人口減少社会の到来と急速な少子高齢化の進展	1
(3) 安全・安心で快適な生活に対する関心の高まり	2
(4) 良質な社会資本のストックの形成	2
3.九州地方におけるこれまでの取り組み	2
4.九州地方で今後取り組むべき課題	4
(1) 成長著しい東アジアと連動した国際的な発展	4
(2) 本格的な人口減少社会と少子高齢化への対応	4
(3) 機能が集積した都市と自然豊かな居住地域の自立・連携	4
(4) 激化する自然災害への対応	4
(5) 豊かな自然環境、良質な社会資本の次世代への継承	4

九州地方の目指すべき将来の姿

「東アジアとの交流・連携を先導する地域」	5
「自立的に発展する個性が輝く地域」	5
「安全・安心なゆとりある暮らしを実現する地域」	6
「自然と共生した美しく誇りが持てる地域」	6

九州地方における社会資本の重点事項

1.地方重点戦略と地方重点目標	7
2.地方重点目標達成のための取り組み	8
地方重点戦略1「東アジアの中で自立的に発展する国際・広域交流基盤づくり」	8
地方重点戦略2「災害対策等の総合力発揮による安全で安心な暮らしの実現」	10
地方重点戦略3「美しい環境先進圏の形成に向けた社会基盤づくり」	13
地方重点戦略4「基幹、拠点都市圏の広域的な機能高度化」	14
地方重点戦略5「多自然居住地域のゆとりある生活基盤づくり」	16
地方重点戦略6「多様な活動主体を基軸とした良好な社会資本の形成」	18

本重点整備方針では、前「九州ブロックの社会資本の重点整備方針」(平成16年6月)と同様に、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県を九州ブロックとしている。

九州地方の現状と課題

1. 九州地方の特徴

東アジアとの交流・連携で発展する地域

九州地方は、我が国の中で東アジアに最も近い地域に位置し、東アジアと我が国の交流・連携の重要な拠点となっている。

適度に分散する都市圏と都市と自然が近接する地域

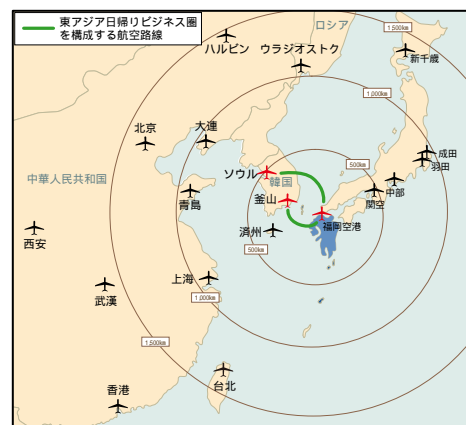
九州地方は、100万人規模の人口を有する福岡市と北九州市を中心として九州北部に連携した都市圏が形成されている。また、県庁所在都市を中心に高次都市機能の集積を可能とする都市圏が東西南北に適度な間隔で分散している。

また、これらの都市圏は、その周辺に美しい自然が豊富にバランスよく存在しており、都市的利便性と豊かな自然環境を同時に享受できる環境に恵まれている。

頻発する自然災害と豊かで美しい自然環境等を有する地域

九州地方は、梅雨期に集中豪雨が多発するとともに、我が国でも有数の台風常襲地帯であり、洪水、高潮、土砂災害等の発生が非常に多く、全国の土砂災害の約2割、崖崩れの約3割が九州地方で発生している。

一方、九州地方は、温暖な気候と、世界最大級のカルデラを有する阿蘇山や世界遺産に登録された屋久島など、豊かで変化に富んだ美しい自然環境に恵まれている。



東アジア日帰りビジネス圏：日本及び外国から相手国に出張をして4時間以上相手国の都市に滞在可能である範囲
東アジア日帰りビジネス圏を構成する航空路線（福岡空港発着）については、JTB時刻表（2009.3）を基に算出

図1 東アジアに近い九州地方

2. 九州地方における近年の状況変化

(1) 東アジアの著しい経済発展と九州との交流拡大

九州地方は、経済発展が続く東アジアとの結びつきが強く、貿易額や企業進出、入国者のうちアジアの占める割合は全国平均よりも高い。また、九州地方とアジアの物流において重要な役割を担う外貿コンテナ貨物は、近年その量が増加しており、そのうち東アジア航路の占める割合も拡大している。

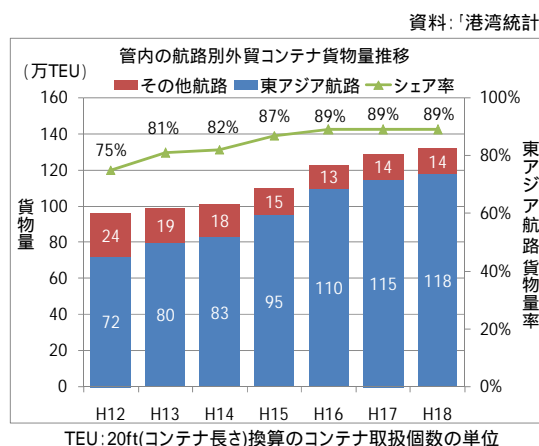


図2 コンテナ貨物量の推移

(2) 本格的な人口減少社会の到来と急速な少子高齢化の進展

九州地方の人口は減少に転じており、今後も、全国を上回る速さで高齢化が進行することが予測されている。

また、人口減少と高齢化は、地理的制約の厳しい離島・半島や県境付近の中山間地域で顕著となっており、過疎地域の人口は全国で最も多く、社会的サービスの維持や地縁型コミュニティの衰退に直面しているとともに、将来的に機能の維持が困難となる集落の増加も懸念されている。

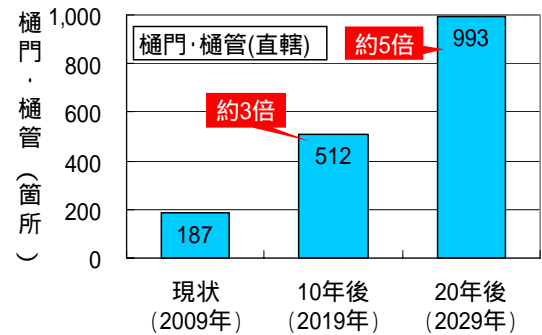
(3) 安全・安心で快適な生活に対する関心の高まり

近年、地球温暖化に起因すると思われる異常気象が顕著になっている。年降水量の変動幅が拡大傾向にあり、九州地方に大規模な災害をもたらす集中豪雨や土砂災害が頻発する一方で、渇水被害が発生している状況にもある。勢力が強く大型の台風の襲来やそれに伴う高潮被害の発生、予測困難な地震・火山噴火の発生など、自然災害への一層の備えが必要なことから、安全・安心な生活に対する国民の関心が高まっている。

(4) 良質な社会資本のストックの形成

国民の安全・安心な暮らしや経済社会の発展のために整備された社会資本が、今後急速に老朽化していくことが明らかとなっている。特に、橋梁、河川構造物、道路施設、海岸保全施設、下水道施設、港湾施設等は、国民の生活基盤として重要な施設であることから、それらの施設の維持管理は重要性を増し、適切な維持管理、更新等への社会的要請は高いものとなっている。

また、国民の社会貢献意識の高まり等を背景にして、住民や企業等が主体となり、社会資本を良好な状態で活用するためのアダプトプログラム^{注1}、ボランティアサポートプログラム^{注2}の活動が活発になっている。



設置年が不明の施設を除く
図3 建設後50年以上の河川構造物数(九州)

3. 九州地方におけるこれまでの取り組み

前期の「九州ブロックの社会資本の重点整備方針」(平成16年6月)では、「安全な国土・危機管理の充実」、「循環型社会に向けた社会基盤づくり」、「拠点都市の機能高度化」、「多自然居住地域の生活基盤づくり」、「広域交流ネットワークの確立」、「環黄海・東シナ海を中心とした国際交流基盤づくり」の6つの重点戦略のもと、18の重点目標を掲げ、九州地方の社会資本整備に取り組んできた。

特に、多発する災害への対策や、成長する東アジアとの交流を促進するための対策に重点化を図っており、「安全な国土・危機管理の充実」や「環黄海・東シナ海を中心とした国際交流基盤づくり」に関する取り組みで、概ね目標とする成果を上げている。



御笠橋付近(平成10年頃)



御笠橋付近(平成17年)

写真1 平成15年福岡豪雨災害 河川激甚災害対策特別緊急事業(御笠川)

(1) 安全な国土・危機管理の充実に係る取り組み

災害に対しては、河川整備や治水対策関連事業により、例えば、床上浸水を緊急に解消すべき戸数が約 11,700 戸 (H14) から約 5,300 戸 (H19) に半減するなど、災害時の被害軽減が図られた。

(2) 循環型社会に向けた社会基盤づくりに関する取り組み

松浦川におけるアザメの瀬の整備などの自然再生や、平成14年度の制度創設以降、九州内の44箇所登録されている「子どもの水辺」などの利用促進及び、流域一体となった水環境の向上など、良好な河川環境を創出・再生・保全する事業を実施している河川数は、11河川 (H14) から15河川 (H19) に拡大し、自然環境の保全や新たな再生・創造が図られた。

(3) 拠点都市の機能高度化に関する取り組み

地域の自主性・裁量性を有する「まちづくり交付金」の活用等により、活性化を支援する主な基盤等が整備される中心市街地が、目標とする20地区を大幅に上回る25地区となっている。また、道路事業においては、例えば平成15年度より「九州の5年で見える道づくり」の考え方に基づき、選択と集中により供用目標と効果を明示し、重点的に整備する事業を「ちゃくちゃくプロジェクト」に選定して実施している。

(4) 多自然居住地域の生活基盤づくりに関する取り組み

中九州横断道路千歳大野道路等の整備により、例えば、第3次救急医療施設へのアクセス時間が5分以上短縮する市町村数が5年間 (H14～H19) で24市町村 (約29万人) となるなど、多自然居住地域においても高度医療等の都市的サービスへのアクセスが向上した。しかしながら、救急医療は、医療施設の変動もあり、地域によっては医療空白地帯があることから、引き続き救急医療を支援する道路の整備を進める必要がある。

(5) 広域交流ネットワークの確立に関する取り組み

南九州西回り自動車道等の整備により、規格の高い道路のIC等まで30分以内で到達可能な二次生活圈中心都市の割合が67% (H14) から79% (H19) に向上するなど、産業経済の発展や日常生活の安定を支えるための主要都市及び地方中心都市の連携が強化された。

(6) 環黄海・東シナ海を中心とした国際交流基盤づくりに関する取り組み

輸送コストの低い大型船舶に対応した博多港国際海上コンテナターミナルの整備などにより、国際海上コンテナ等海上輸送コスト削減率が5% (H19) となるなど、東アジアのゲートウェイ機能の強化が図られた。また、コンテナネットワーク数は、目標とする130便/週を1年前倒して達成しており、成長著しい東アジアとの交流が拡大するなど、概ね目標は達成された。

4.九州地方で今後取り組むべき課題

(1) 成長著しい東アジアと連動した国際的な発展

成長著しい東アジアとの地理的・歴史的なつながり等の優位性を活かし、東アジアとの連携や観光・技術・学術・文化交流の拡大を図りながら、東アジアと連動した、九州地方の国際的な発展を目指す視点が重要である。

特に、国際交流ゲートウェイ機能の強化、およびネットワークの整備などを進めることで、経済・文化等の多面的な国際交流を積極的に推進し、東アジア1日交流圏の拡大による、九州地方の新たな発展につなげていくことが必要である。

(2) 本格的な人口減少社会と少子高齢化への対応

少子高齢化と過疎化が同時進行する中で、地域社会を維持するため、離島を含めた広域的な交流・連携の推進により、誰もが社会に参画でき、暮らしやすい地域社会の実現を目指すことが求められる。

このため、都市的利便性と豊かな自然環境が容易に享受でき、多様な暮らし方、働き方ができるなど、九州の各地域が全体的に選択可能性の高い多彩なライフスタイルが可能となる社会を創出していくことが必要である。

(3) 機能が集積した都市と自然豊かな居住地域の自立・連携

一定規模の都市機能が集積した都市圏が適度に分散する地域構造、豊かな自然、地域の歴史・文化などのポテンシャルを活用して、都市と自然豊かな居住地域の互惠関係を形成することにより、魅力的で個性のある地域づくりが求められる。

多様な地域が自立・連携することを通じて、九州地方のどこに住んでいても、多大な時間や費用をかけずに、高次都市機能から生活支援機能までの一定の社会的サービスを楽しむ生活環境を形成していくことが必要である。

(4) 激化する自然災害への対応

九州地方は、我が国でも災害の多い地域であり、大規模地震、気象変動等により増大する災害リスクに対して、安全・安心な社会を形成することが求められる。

このため、我が国における災害ハザードの最前線として、先導的な災害対策を推進する必要がある。災害対策については、減災の視点も取り入れ、地球温暖化への適応策と緩和策を組み合わせた総合的かつ柔軟な対策により、災害に強い地域づくりを進める必要がある。

(5) 豊かな自然環境、良質な社会資本の次世代への継承

九州地方の豊かな自然環境及び美しい景観、これまでに形成された社会資本について良好な状態で次世代に継承していくことが求められる。

このためには、多様な主体による、良好な水循環系・物質循環系の構築や低炭素社会の実現に向けた取り組みを進めるとともに、歴史遺産等の地域資源を活かした景観形成の取り組みや、良質な社会資本ストックの形成などを推進していくことが必要である。

九州地方の目指すべき将来の姿

九州地方は、「都市と自然、東アジアが身近な21世紀のフロントランナー」を将来の姿として、「九州はひとつ」という理念のもと、地域の自立的かつ一体的発展に向け、(1)東アジアとの交流・連携を先導する地域、(2)自立的に発展する個性が輝く地域、(3)安全・安心なゆとりある暮らしを実現する地域、(4)自然と共生した美しく誇りが持てる地域の実現を目指す。

これにより、「どこに住んでいても都市の利便性と豊かな自然の双方を享受できるような暮らし」と「東アジアとともに発展し活力と創造性にあふれる産業経済」を実現して、我が国の国土の発展に寄与する。

そのために、九州圏として一体的な発展を促すとともに、各地域が高次都市機能から生活支援機能までの一定の社会的サービスや就業の機会を確保でき、豊かな生活環境を実現する。

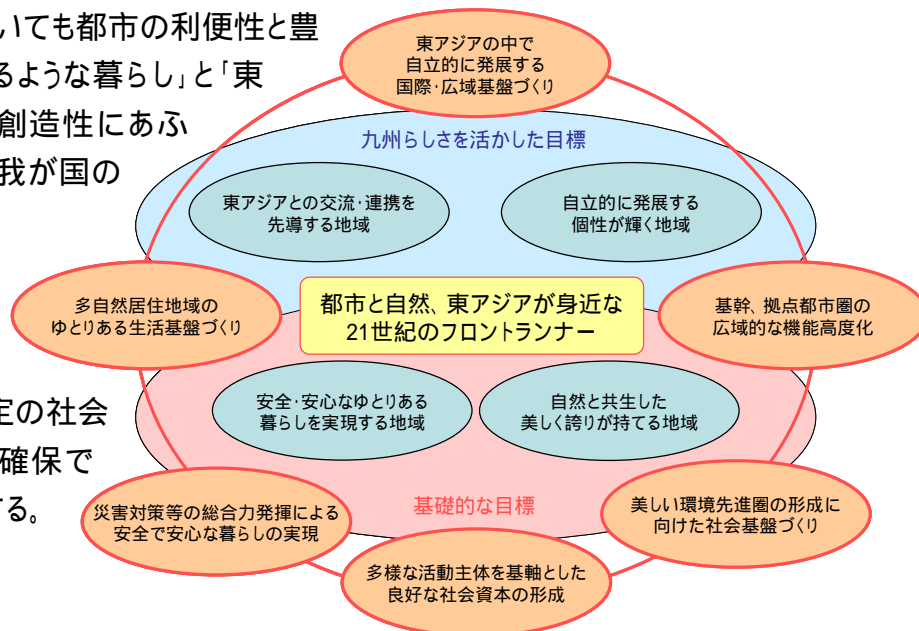


図4「九州地方の目指すべき将来の姿」のイメージ

「東アジアとの交流・連携を先導する地域」

経済のグローバル化の進展、東アジアの急速な経済成長と産業構造の高度化の中で、近年では、東アジア規模の生産ネットワークの構築や経済連携の動きが活発化し、ビジネス、観光等の様々な人的交流も進んできている。

さらに、世界経済の大きな変化の中で、東アジアの国々を中心とした経済成長は、世界経済をリードし、アジアの新時代を構築していくことが期待されている。

九州地方は歴史的かつ地理的に東アジアとの交流の重要な窓口を担っており、成長する東アジアの活力を享受できる地理的優位性を活かし、人・物・情報が活発に交流する東アジア国際交流軸の形成を促進する。

西瀬戸内海や豊後水道に面する西瀬戸地域においては、海を介した多様なネットワークの形成による中国圏、四国圏との交流・連携機能の強化を図る。

また、南の海洋に連なる地域においては、産業、観光等の海を通じた交流・連携の推進を図ることにより、東アジアの経済圏の核として東アジア、近接地域等との一体的発展に向けた交流・連携を先導する地域を目指していく。

「自立的に発展する個性が輝く地域」

九州では、東西方向と南北方向に交通ネットワークが形成され、7つの県庁所在都市と政令指定都市が広域交通体系で結ばれて人・物・情報等の交流が展開されている。

すでに九州内の基幹都市圏間は1日行動圏となりつつあるが、九州の西側に比べて遅れて

いる東九州の高速交通ネットワークや東西方向の高速交通ネットワークの整備による循環型高速交通体系の構築、九州新幹線鹿児島ルート(博多～新八代間)、長崎ルート(武雄温泉～諫早間)の整備、情報の共有化を図る通信基盤の高度化等を推進するとともに、長崎、熊本、鹿児島の3県にまたがる九州西岸地域における多様なネットワークの形成による交流・連携機能の強化を図る。

このような社会資本を活かしながら、九州北部と九州南部等の地域間の交流・連携により産業、観光、文化等、さまざまな分野で九州内の各地域が相互補完により全体としての地域力を高める。

特に産業面では、九州経済の牽引的役割を果たしている自動車産業や半導体産業が企業立地を進めている。また、温暖な気候や豊かな地域資源・食文化等を活かして特色ある農林水産業、食料品産業や観光産業も、九州地方の成長を支える重要な産業である。これらの産業に続く環境産業や次世代を担う新たな成長型産業の競争力を強化するための基盤の整備が必要である。

「安全・安心なゆとりある暮らしを実現する地域」

九州地方は、活火山や特殊土壌地帯を多く抱え、台風や梅雨前線などによる風水害、高潮災害や土砂災害等の災害の最前線であり、近年顕著となっている異常気象に対しても、災害の未然防止や被害の最小化に努めるとともに、防災面や地域の孤立化の解消等に大きな役割を果たす道路をはじめ、地域の実情を的確に反映した社会資本を整備するなど、今後も一層災害に強い安全な国土を目指す。

また、本格的な人口減少社会を迎え、人口の都市集中と中山間地域の過疎化、離島・半島における地理的制約などに対して、誰もが安心して暮らせ、生き生きと暮らせる地域を目指す。

九州地方は、一定規模の都市機能が集積する都市圏が適度に分散するとともに、都市と自然とが近接している。この利点を活かし、広域的な連携を支える交通基盤等を形成することで、離島・半島を含め九州地方のどこに住んでいても都市の利便性と豊かな自然を享受できる生活を実現する。

「自然と共生した美しく誇りが持てる地域」

九州地方は、その特徴的な地形や気候等により、非常に多様で貴重な自然環境を有し、特有の文化、産業、生活を育んできた。これらを健全な状態で次世代に継承し、地球温暖化にも対応するために、環境負荷の小さい持続可能な循環型社会の構築を目指す。

森林、農地、都市内緑地・水辺、河川、海等をつなぐエコロジカルネットワークを形成して、生物の生息・生育空間の確保を図るとともに、各地で実施されている環境教育、景観形成等の取り組みをさらに推進して、自然と共生する美しい地域を目指す。

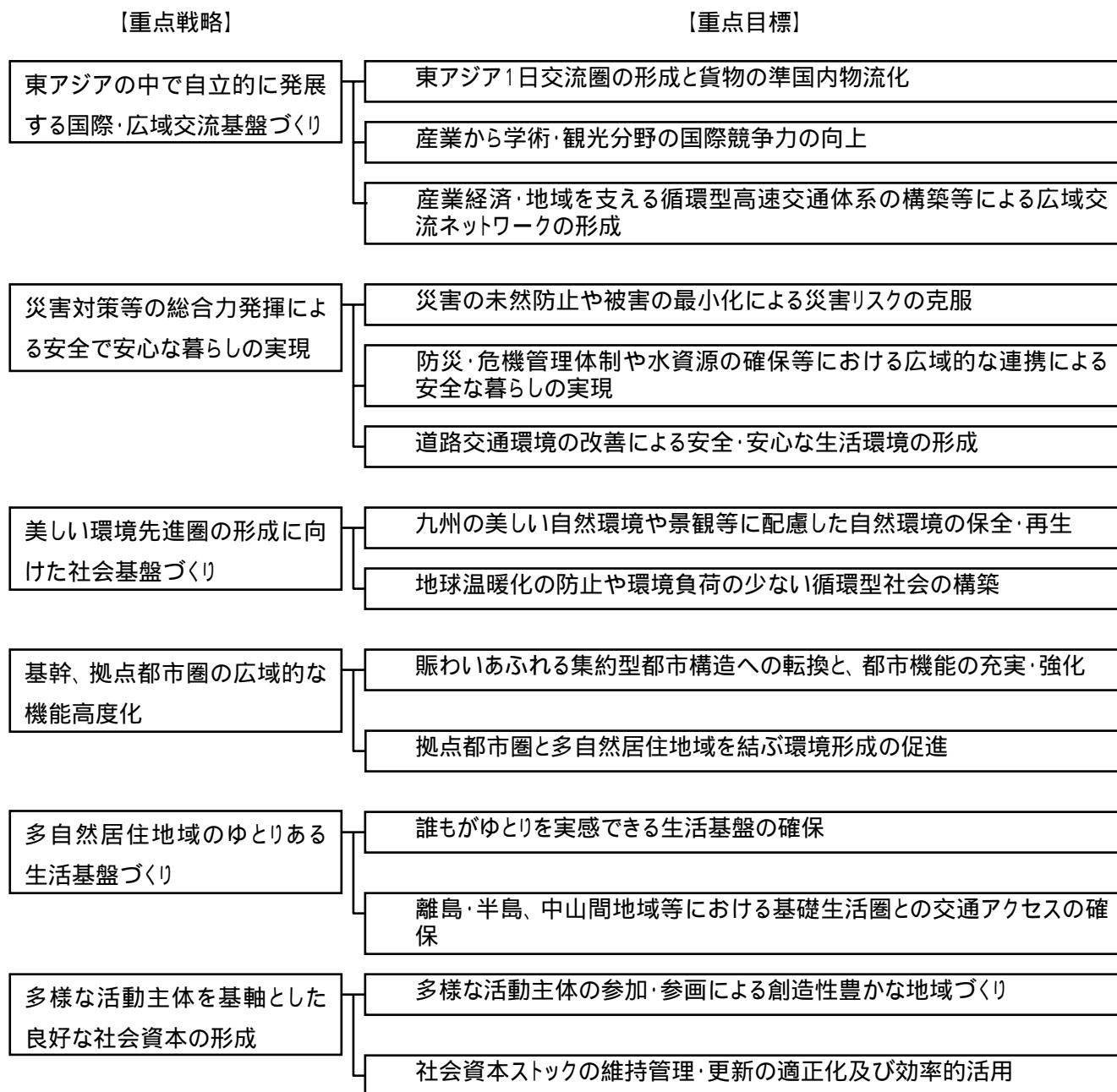
また、九州地方に多く賦存する木質バイオマスの利活用など、循環資源の性質に即した望ましい3R(リデュース、リユース、リサイクル)を進めるとともに、水資源の効率的な利用や地下水の保全と適正な利用を図って、持続可能な水循環系を構築する。

さらに、これからは、今までに蓄積された社会資本ストックの活用と適正な維持・更新に取り組んでいく必要がある。

九州地方における社会資本の重点事項

1. 地方重点戦略と地方重点目標

九州地方の将来の姿の実現に向け、H20～H24年度の5箇年を計画期間とし、以下に示すとおり、6つの重点戦略と、それに基づく14の重点目標を設定し、その達成に向けて、効果的かつ効率的な事業を推進する。



2. 重点目標達成のための取り組み

重点戦略1 「東アジアの中で自立的に発展する国際・広域交流基盤づくり」

東アジア1日交流圏の拡大を目指して、東アジアへのゲートウェイ機能の強化を図るとともに、域内の高速交通体系及びアクセス網の強化を図る。

また、多様な学術・研究交流や文化交流を通じて、地域における新たな産業展開を促すとともに、美しい自然環境や温泉地、地域・伝統産業、都市的アミューズメントなど、九州の素晴らしさを内外にアピールする拠点整備により、人的国際交流の促進等を図る。

重点目標 「東アジア1日交流圏の形成と貨物の準国内物流化」

- ・今後の国際・国内需要等へ対応するため空港機能強化を図るとともに、既存空港施設の高質化、更新・改良を推進する。
- ・福岡空港については、構想・施設計画検討協議会における検討等を踏まえ、地元の合意形成を図りつつ、将来需要に適切に対応するための方策を講じる。
- ・国際交流・物流の拠点となる中枢・中核国際港湾等の整備を図るとともに、これらの拠点へのアクセス道路や国際コンテナ通行支障区間の解消に向けた整備等を推進する。
- ・航行船舶の安定性・安全性の向上のため、船舶の大型化に対応した航路等の整備を推進するとともに、保安対策の強化を図る。
- ・効率的な物流体系を構築するため、多様な輸送手段の強化を図るとともに、物流・商流・情報交流等の活発化を促進する。

【指標】

九州港湾と東アジア主要港との直行航路便数 【約82便/週(H19) 約88便/週(H24)】

【主要事業】

空港施設の更新・改良	【福岡空港(福岡県福岡市)等】
国際海上コンテナターミナル整備事業	【博多港アイランドシティ地区(福岡県福岡市)】
多目的国際ターミナル整備事業	【下関港新港地区(山口県下関市)】
	【下関港長府地区(山口県下関市)】
	【博多港須崎ふ頭地区(福岡県福岡市)】
	【三池港内港北地区(福岡県大牟田市)】
	【苅田港新松山地区(福岡県苅田町)】
	【苅田港本港地区(福岡県苅田町)】
	【苅田港南港地区(福岡県苅田町)H21年度完成】
	【長崎港小ヶ倉柳地区(長崎県長崎市)】
	【伊万里港七ツ島地区(佐賀県伊万里市)】
	【三角港際崎地区(熊本県宇城市)H21年度完成】
	【八代港外港地区(熊本県八代市)】
	【佐伯港女島地区(大分県佐伯市)】
	【中津港田尻地区(大分県中津市)】
	【川内港京泊地区(鹿児島県薩摩川内市)】
	【志布志港新若浜地区(鹿児島県志布志市)】
複合一貫輸送ターミナル整備事業	【唐津港東港地区(佐賀県唐津市)】
国内物流ターミナル整備事業	【北九州港日明地区(福岡県北九州市)H22年度完成】
	【熊本港夢咲島地区(熊本県熊本市)】
	【津久見港堅浦地区(大分県津久見市)等】
臨港道路整備事業	【北九州港洞海地区(福岡県北九州市)】
	【中津港田尻地区(大分県中津市)】
	【鹿児島港中央港区(鹿児島県鹿児島市)】
防波堤整備事業	【細島港外港地区(宮崎県日向市)】

航路の整備	【油津港東地区(宮崎県日南市)】
空港、港湾へのアクセス道路の整備	【関門航路(福岡県・山口県)】
【新若戸道路((都)響灘戸畑線)(福岡県)、中津日田道路[(一般国道212号本耶馬溪耶馬溪道路)H23年度完成(大分県)、(一般国道212号中津三光道路)(大分県)、(一般国道212号三光本耶馬溪道路)(大分県)、(一般国道212号耶馬溪道路)(大分県)]、都城志布志道路[(一般国道10号都城道路)(平塚～五十町)H23年度完成(宮崎県)、(一般国道10号都城道路 期)(宮崎県)、((主)都城東環状線)(今町)(宮崎県)、((主)志布志福山線有明志布志道路)(鹿児島県)、((主)志布志福山線有明道路)(鹿児島県)]、北薩横断道路[(一般国道504号薩摩道路)(鹿児島県)、(一般国道504号泊野道路)(鹿児島県)]等】	
鉄道貨物輸送機能の強化	【鉄道貨物輸送力増強事業(北九州・福岡間)】
臨海部物流拠点の形成	【博多港アイランドシティ地区(福岡県福岡市)】

重点目標 「産業から学術・観光分野の国際競争力の向上」

- ・九州の美しい自然環境、温泉地などを活かした人的交流及び外国からの観光客の誘致に向けて、空港・港湾等の交通拠点の整備を促進する。
- ・東アジアと我が国の結節点として、アジア規模の高度な知的拠点の形成と国際的に魅力ある交流拠点等の形成を支援するための良好な市街地の形成等を推進する。
- ・新幹線駅周辺の機能を高めるため、連続立体交差事業、街路事業等による市街地の形成、土地区画整理事業等を推進する。
- ・国際競争力を持った学術研究、技術開発や産業の創出・育成を図るため、大学や研究機関を核とした学術・研究開発拠点の形成、機能強化を図る。

【主要事業】

国際旅客ターミナル整備事業	【博多港中央ふ頭地区(福岡県福岡市)H22年度完成】
	【長崎港松ヶ枝地区(長崎県長崎市)H22年度完成】
東アジアとの交流拠点としての整備(市街地再開発事業)	【小倉駅南口東地区(福岡県北九州市)等】
同上(まちづくり交付金)	【鉄輪温泉地区(大分県別府市)等】
同上(土地区画整理事業)	【大分駅南地区(大分県大分市)】
	【東部第二地区(宮崎県宮崎市)等】
新幹線駅周辺の整備(暮らし・にぎわい再生事業)	【鹿児島中央駅周辺地区(鹿児島県鹿児島市)】
	【熊本駅前東A地区(熊本県熊本市)等】
同上(土地区画整理事業)	【新大牟田駅周辺地区(福岡県大牟田市)】
	【新鳥栖駅西地区(佐賀県鳥栖市)】
	【長崎駅周辺地区(長崎県長崎市)】
	【川内駅周辺地区(鹿児島県薩摩川内市)等】
同上(連続立体交差事業)	【JR鹿児島本線・豊肥本線(熊本県熊本市)】
	【JR佐世保線(佐賀県武雄市)】
	【JR長崎本線(長崎県長崎市)等】
同上(市街地再開発事業)	【JR久留米駅前第一街区地区(福岡県久留米市)等】
同上(まちづくり交付金)	【船小屋駅周辺地区(福岡県筑後市)】
	【新玉名駅・玉名温泉・高瀬地区(熊本県玉名市)】
	【福岡都心部地区(福岡県福岡市)等】
同上(街路事業)	【博多駅博多口広場(福岡県福岡市)等】
学術・研究開発拠点としての整備(土地区画整理事業)	【学術・研究都市北部地区(福岡県北九州市)】
同上(まちづくり交付金)	【福岡市西部地域地区(福岡県福岡市)等】
同上(街路事業)	【波多江泊線(福岡県前原市)】
	【乙丸折尾線(福岡県北九州市)】

重点目標 「産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成」

- ・人々にとって、より質が高く多彩な活動の選択を可能とし、九州の牽引型・成長型産業の物

流機能を支援するために、交通拠点及び広域交流ネットワークの整備を促進する。

- ・高規格幹線道路等をはじめとする基幹ネットワークやその利便性を高めるインターチェンジの整備及びアクセス道路の整備等を推進する。
- ・整備新幹線については、政府・与党申合せ等に基づき、着工区間の着実な整備を進めるとともに、それ以外の区間について所要の事業を進める。

【指標】

高速道路等ICへの30分カバー率

【約85% (H19) 約89% (H24)】

【主要事業】

基幹ネットワークの整備

- ・東九州自動車道[(苅田北九州空港IC～豊津)(福岡県)、(椎田南～宇佐)(福岡県、大分県)、(佐伯IC～蒲江)(大分県)、(蒲江～北浦)H24年度完成(大分県、宮崎県)、(北浦～北川)(宮崎県)、(門川～日向)H22年度完成(宮崎県)、(日向～都農)(宮崎県)、(都農～高鍋)H24年度完成(宮崎県)、(高鍋～西都)H22年度完成(宮崎県)、(清武JCT～日南)(宮崎県)、(志布志～曾於弥五郎)(鹿児島県)、(曾於弥五郎～末吉財部IC)H21年度完成(鹿児島県)]、(一般国道10号延岡道路)(北川～延岡JCT・IC)H24年度完成(宮崎県)
- ・九州横断自動車道延岡線[(嘉島JCT～矢部)(熊本県)]、(一般国道218号高千穂日之影道路)(宮崎県)、(一般国道218号北方延岡道路)(蔵田～北方IC)(宮崎県)
- ・中九州横断道路[(一般国道57号大野竹田道路)(大分県)、(一般国道57号阿蘇大津道路)(熊本県)]
- ・西九州自動車道[(一般国道202号今宿道路)(福重JCT)H22年度完成(福岡県)、(一般国道497号唐津道路)(二丈鹿家～浜玉IC)H21年度完成(福岡県、佐賀県)、(一般国道497号唐津伊万里道路)(唐津IC～北波多)H23年度完成、(北波多～伊万里東)(佐賀県)、(一般国道497号伊万里道路)(佐賀県)、(一般国道497号伊万里松浦道路)(佐賀県、長崎県)、(一般国道497号佐々佐世保道路)(佐々～相浦中里)H22年度完成、(相浦中里～佐世保中央)H21年度完成(長崎県)、(一般国道497号佐世保道路)(佐世保中央～佐世保みなとIC)H21年度完成(長崎県)]
- ・南九州西回り自動車道[(一般国道3号芦北出水道路)(熊本県、鹿児島県)、(一般国道3号出水阿久根道路)(鹿児島県)、(一般国道3号川内隈之城道路)(川内～高江)H24年度完成、(高江～薩摩川内都I C)(鹿児島県)]等]
- 整備新幹線の整備 【九州新幹線鹿児島ルート(博多～新八代間)、長崎ルート(武雄温泉～諫早間)】

重点戦略2 「災害対策等の総合力発揮による安全で安心な暮らしの実現」

大規模な自然災害の発生に備えるとともに、近年の土地利用の変化や都市の機能高度化、少子高齢化による地域防災力の低下や災害弱者の増大、気候変動等の影響から増大する災害リスク等、防災に対する社会的需要への対応を図る。

また、幹線道路や生活道路の安全性を確保することにより、事故の未然防止や被害軽減を図り、安全な生活環境の形成を図る。

重点目標 「災害の未然防止や被害の最小化による災害リスクの克服」

- ・頻発する集中豪雨や台風による災害に対し、河川改修や洪水調節施設等の整備を進めるとともに、高潮・侵食対策として、海岸や河口等の高潮堤防等の整備及び砂浜など海岸保全施設の整備を図る。
- ・多発する土砂災害に対して土砂流出防止対策や、土砂災害警戒区域等の指定を促進する。特に、土砂災害等の犠牲になりやすい災害時要援護者関連施設の保全を進める。
- ・高齢者の多い山間部において、洪水被害を防止するために輪中堤や宅地嵩上げによる対策を進める。
- ・大規模地震に対し、臨海部緊急物資輸送拠点を確保するとともに、河川、港湾、空港、官庁施設等の公共施設の耐震性能の確保や緊急輸送道路確保のため橋梁の耐震対策を推進

する。

- ・公共施設や病院等を相互に結ぶ生活幹線道路の安全な通行を確保するため、道路法面等の防災対策、災害のおそれのある区間を回避する道路の整備を推進する。

【指標】

近年発生した床上浸水の被害戸数のうち未だ床上浸水の恐れがある戸数	【16,100戸(H19) 5,300戸(H24)】
洪水による氾濫から守られる区域の割合	【62%(H19) 63%(H24)】
津波、高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積	【約2.6万ha(H19) 約1.6万ha(H24)】
土砂災害から保全される人口	【約46万人(H19) 約50万人(H24)】
臨海部緊急物資輸送等拠点充足率	【約20%(H19) 約60%(H24)】
要防災対策箇所の解消率	【約30%(H19) 10%増加(H24)】

【主要事業】

河川改修事業	【白川熊本市街部改修(熊本県熊本市)】 【筑後川久留米街部改修(福岡県久留米市)】 【中島川長崎市街部改修(長崎県長崎市)】
特定構造物改築事業	【新日鐵堰(福岡県中間市)】 【JR第一白川橋梁(熊本県熊本市)】
河川激甚災害対策特別緊急事業	【五ヶ瀬川(宮崎県延岡市)H22年度完成】 【大淀川(宮崎県宮崎市他)H21年度完成】 【川内川(鹿児島県さつま町他・宮崎県えびの市)H22年度完成】 【大谷川・瓜田川・飯田川(宮崎県宮崎市)H21年度完成】 【米之津川(鹿児島県出水市)H22年度完成】 【久富木川・夜星川・白木川(鹿児島県さつま町他)H22年度完成】
床上浸水対策特別緊急事業	【遠賀川(福岡県飯塚市他)H21年度完成】 【明星寺川(福岡県飯塚市)H21年度完成】 【池町川(福岡県久留米市)H23年度完成】 【旧堅田川(大分県佐伯市)H21年度完成】 【新川(鹿児島県鹿児島市)H21年度完成】
土地利用一体型水防災事業	【球磨川(熊本県球磨村)】 【緑川(熊本県甲佐町)】
ダム事業	【五ヶ瀬川・耳川(宮崎県延岡市等)】 【大分川ダム(大分県大分市)】 【嘉瀬川ダム(佐賀県佐賀市)H23年度完成】 【鶴田ダム再開発(鹿児島県さつま町)】 【立野ダム(熊本県大津町・南阿蘇村)】 【本明川ダム(長崎県諫早市)】 【大山ダム(大分県日田市)H24年度完成】 【小石原川ダム(福岡県朝倉市)】 【川辺川ダム(熊本県相良村・五木村)】 ¹
海岸高潮対策	1 調整事業費にて、主要地方道宮原五木線の付替工事を実施 【別府港海岸餅ヶ浜地区(H21年度完成)、上人ヶ浜地区、北浜地区(大分県別府市)】 【下関港海岸長府・壇ノ浦地区、山陽地区(山口県下関市)】 【玉名横島海岸玉名横島地区(熊本県玉名市)】 【福富海岸等福富地区(佐賀県白石町)】 【三池第一海岸等有明海東部地区(福岡県大牟田市、柳川市、みやま市、大川市)】 【北九州港海岸新門司北地区(福岡県北九州市)】 【長崎港海岸小ヶ倉・毛井首地区(長崎県長崎市)】 【霞ヶ浦漁港海岸(大分県佐伯市)】 【柳川海岸(福岡県柳川市)】 【半田海岸(長崎県島原市)】 【荒尾海岸(熊本県荒尾市)】
海岸侵食対策 砂防事業	【宮崎海岸(宮崎県宮崎市)等】 【桜島(鹿児島県鹿児島市)】 【雲仙・普賢岳(長崎県島原市)】
砂防激甚災害対策特別緊急事業	【美里町・山都町地区(熊本県美里町・山都町)】 【南大隅地区(鹿児島県南大隅町)】

耐震強化岸壁整備事業

【苅田港南港地区(福岡県苅田町)H21年度完成】
【唐津港東港地区(佐賀県唐津市)】
【長崎港小ヶ倉柳地区(長崎県長崎市)】
【福江港大津地区(長崎県五島市)H22年度完成】
【郷ノ浦港郷ノ浦地区(長崎県杵岐市)H23年度完成】
【巖原港巖原地区(長崎県対馬市)】
【有川港有川地区(長崎県新上五島町)H24年度完成】
【別府港石垣地区(大分県別府市)】
【臼杵港下り松地区(大分県臼杵市)】
【名瀬港本港地区(鹿児島県奄美市)等】
【福岡空港(福岡県福岡市)、鹿児島空港(鹿児島県霧島市)等】
【福岡県警察学校(福岡県福岡市)等】

空港の耐震化事業
防災拠点官庁施設等の耐震化
道路防災

【一般国道445号泉～相良バイパス(熊本県)、一般国道442号野津原バイパス(大分県)、
一般国道220号早崎改良(鹿児島県)、一般国道225号川辺改良(鹿児島県)等】

重点目標 「防災・危機管理体制や水資源の確保等における広域的な連携による安全な暮らしの実現」

- ・災害の未然防止や被害の軽減に向けて、ハザードマップの整備・普及や河川等の災害情報
の防災教育等のソフト対策を推進する。
- ・大規模災害時において救援・救護、災害復旧等に的確に対応できるよう、広域的な防災・危
機管理体制を強化する。
- ・災害時における確実な避難・緊急輸送等を図るための河川防災ステーションの整備や緊急
活動の迅速な復旧を支える道路整備等を推進する。
- ・北部九州をはじめ、しばしば深刻な水不足に見舞われている地域において、新規ダムの建
設や既設ダムの有効利用を推進し、河川流量の確保とともに水道用水等の安定供給を図
る。

【指標】

ハザードマップを作成・公表し、防災訓練等を実施した市町村の割合(洪水、内水、土砂、津波・高潮)

【洪水	4%(H19)	100%(H24)
【内水	約4%(H19)	100%(H24)
【土砂	11%(H19)	100%(H24)
【津波・高潮	約3割(H19)	約4割(H24)

【主要事業】

市町村が作成するハザードマップ作成支援・公表(洪水)(全県)

火山噴火緊急減災対策砂防計画(霧島山、桜島等)

地上デジタル放送による河川情報の提供(筑後川等)

ダム事業

【大分川ダム(大分県大分市)】

【嘉瀬川ダム(佐賀県佐賀市)H23年度完成】

【本明川ダム(長崎県諫早市)】

【大山ダム(大分県日田市)H24年度完成】

【小石原川ダム(福岡県朝倉市)】

【川辺川ダム(熊本県相良村・五木村)】 1

1 調整事業費にて、主要地方道宮原五木線の付替工事を実施

下水処理水の有効利用

【福岡県福岡市等】

重点目標 「道路交通環境の改善による、安全・安心な生活環境の形成」

- ・道路交通環境をより安全・安心なものとするため、交通事故の発生頻度が高い区間におけ
る交差点改良、線形改良等の交通事故削減対策を推進する。
- ・歩行者の安全性を確保するために、通学路等における歩道空間の整備、自転車利用環境

の整備や、あんしん歩行エリアにおける面的な交通事故対策を推進する。

【指標】

道路交通における死傷事故率 [113.5件/億台*_口(H19) 約1割削減(H24)]

【主要事業】

交差点改良や自歩道等の整備
【一般国道3号千鳥交差点改良(福岡県)、(主)佐賀川久保鳥栖線乗目交差点(佐賀県)、一般国道205号大崎公園入口交差点改良(長崎県)、一般国道3号敷川内歩道整備(熊本県)、一般国道10号宮崎自歩道整備(大分県)、一般国道10号長井視距改良(宮崎県)、一般国道225号峯尾峠視距改良(鹿児島県)等]

重点戦略3 「美しい環境先進圏の形成に向けた社会基盤づくり」

恵まれた自然環境、美しい景観やこれまでに形成された社会資本が、次世代に良好に継承されるために、地域の環境や景観に配慮した社会資本の整備・管理を行うとともに、自然環境の再生・創出に取り組む。

また、低炭素社会の実現や生活環境の改善に向けて、環境負荷の少ない交通体系の形成等を促進する。

重点目標 「九州の美しい自然環境や景観等に配慮した自然環境の保全・再生」

- ・河川環境を保全・再生する河川整備、自然環境に配慮した道路構造の採用に加え、良好な湿地環境の再生や砂浜の復元・創出を進め、美しく豊かな自然環境を保全・再生する。
- ・有明海・八代海等の閉鎖性水域等における海域環境の保全を図るとともに、藻場・干潟・覆砂等による水質・底質の改善を通して、良好な海域環境の保全・創出を図る。
- ・川やダム湖を活かした環境学習や体験活動ができる水辺拠点の整備を図り、活力のある地域づくりを支援する。
- ・地域資源を活かした美しい道路景観の形成を図り、地域活性化や観光振興を推進するとともに、美しい街並みや眺望を有する地域の景観が阻害されないよう無電柱化を推進する。

【指標】

河川において自然再生事業として生態系に配慮した箇所数 [4箇所(H19) 6箇所(H24)]
人のにぎわいのある水辺空間を創出し、活力あるまちづくりを支援する箇所数 [23箇所(H19) 33箇所(H24)]

【主要事業】

自然再生事業 [松浦川アザメの瀬(佐賀県唐津市)等]
地域連携事業 [菊池川山鹿地区かわまちづくり(熊本県山鹿市)等]
下水道の普及促進 [佐賀県佐賀市]
[熊本県南小国町等]

重点目標 「地球温暖化の防止や環境負荷の少ない循環型社会の構築」

- ・自動車による環境負荷低減のために、モーダルシフトを図るための港湾物流拠点や、幹線道路の沿道環境改善のためのバイパス整備や交差点改良等のボトルネック対策を進める。
- ・沿道の騒音・振動の低減を図るため、高機能舗装、環境施設帯等の対策を進め、沿道環境の保全に努める。
- ・ETCの利用促進などITSの推進、高速道路の多様で弾力的な料金施策、自転車利用環境の整備、路上工事の縮減を図るとともに、公共交通機関等の利用促進、交通結節機能等の強化を図る。

- ・環境配慮型官庁施設の整備や、下水等の汚泥の再利用や保有するエネルギーの電力化等の促進により省エネルギーを進め、環境負荷の低減を図る。
- ・建設廃棄物の発生抑制、廃棄物の再資源化、建設発生土の有効利用などリサイクルを推進する。

【指標】

下水汚泥リサイクル率(農地還元やエネルギー化) 【約88%(H18) 96%(H24)】

【主要事業】

河川事業 【堤防等の刈草のリサイクル(球磨川等)】
下水汚泥の資源・エネルギー利用 【熊本県熊本市】【福岡県等】

ボトルネック対策

【一般国道3号博多バイパス(福岡県)、一般国道34号神埼佐賀拡幅(堀立交差点～下淵交差点)H21年度完成(佐賀県)、一般国道34号大村拡幅(玖島中学校入口交差点～国立医療センター入口交差点)H21年度完成、(国立医療センター入口交差点～与崎交差点)H22年度完成(長崎県)、一般国道3号植木バイパス(一般国道208号～(都)植木停車場投刀塚線)H22年度完成(熊本県)、一般国道10号古国府拡幅(大分県)、一般国道10号門川日向拡幅(新生町交差点付近)H21年度完成(宮崎県)、一般国道226号平川道路(鹿児島県)等】

温暖化防止、騒音低減を図る整備(都市交通システム事業)

【市電軌道敷緑化整備事業(鹿児島県鹿児島市)】

エコまちづくり事業(先導的都市環境形成促進事業)

【城野地区(福岡県北九州市)】

重点戦略4 「基幹、拠点都市圏の広域的な機能高度化」

一定規模の都市機能の集積が進む都市圏が適度に分散する地域構造、豊かな自然、地域の歴史・文化などのポテンシャルを活用して、都市と自然豊かな地域の互惠関係を形成する。

そのため、交通の利便性の向上を図り、バリアフリー化等の整備を推進するとともに、安全で快適な居住環境の形成を図り、暮らす人にも訪れる人にも快適で暮らしやすい都市を形成する。

重点目標 「賑わいあふれる集約型都市構造への転換と、都市機能の充実・強化」

- ・都市構造を再編・再構築するため、市街地における土地区画整理事業等の面的整備による街区の再編等により、魅力と賑わいのある都市空間を整備し街なか居住を進める。
- ・都市の骨格となる環状道路やバイパス整備、鉄道の連続立体交差事業や交差点改良の交通渋滞対策を進める。
- ・基幹、拠点都市圏における都市機能の充実・強化を図るため、文化・スポーツ・レクリエーション機能の充実を図る。
- ・下水道の整備により浸水被害の低減を図るとともに、都市部を貫流する河川において緊急的、重点的に河川改修等を行い、一定の治水安全度を確保する。
- ・安全で快適な都市空間の創造、災害に強いまちづくりのため、密集市街地の改善、建築物の耐震化、防災公園の整備、無電柱化等を進める。

【指標】

歩いていける身近なみどりのネットワーク率 【64%(H19) 69%(H24)】
道路渋滞による損失時間 【354.9百万人時間/年(H19) 約5%削減(H24)】

【主要事業】

魅力ある都市空間の整備(住宅市街地総合整備事業・拠点開発型)【香椎・臨海東地区(福岡県福岡市)】【大浜地区(福岡県福岡市)】【大里本町地区(福岡県北九州市)等】

同上(暮らし・にぎわい再生事業)	【黒崎駅西地区(福岡県北九州市)等
同上(土地区画整理事業)	【香椎副都心地区(福岡県福岡市)】 【武雄北部地区(佐賀県武雄市)】 【諫早南部第一地区(長崎県諫早市)】 【八千把地区(熊本県八代市)】 【新田地区(宮崎県都城市)】 【湯之元第一地区(鹿児島県日置市)等
マイタウン・マイリバー整備事業	【紫川(福岡県北九州市)】
交通渋滞対策(連続立体交差事業)	【JR筑豊本線・鹿児島本線(福岡県北九州市)】 【西鉄天神大牟田線(福岡県福岡市、春日市、大野城市)】 【JR日豊本線等(大分県大分市)】 【JR指宿枕崎線(鹿児島県鹿児島市)等
広域レクリエーションの活動拠点の整備	【海の中道海浜公園(福岡県福岡市)】
歴史、文化の継承に資する公園整備	【吉野ヶ里歴史公園(佐賀県吉野ヶ里町・神埼市)】
防災拠点となる公園整備	【勝山公園(福岡県北九州市)】 【佐賀城公園(佐賀県佐賀市)】 【宮崎県総合運動公園(宮崎県宮崎市)】
文化、スポーツ・レクリエーションの活動拠点整備	【筑後広域公園(福岡県筑後市、みやま市)】 【上山公園(長崎県諫早市)】 【吉野公園(鹿児島県鹿児島市)】
浸水被害の軽減に資する下水道事業	【福岡県久留米市】 【鹿児島県鹿児島市等
水循環の形成に資する下水道事業	【長崎県長崎市等
災害に強いまちづくり整備(住宅市街地総合整備事業・密集市街地整備型)	【花畑地区(福岡県久留米市)】 【水の浦地区(長崎県長崎市)】 【東山地区(長崎県佐世保市)】 【三佐北地区(大分県大分市)】 【細島東部地区(宮崎県日向市)】 【浜之市地区(鹿児島県霧島市)等
同上(まちづくり交付金)	【福津地区(福岡県福津市)】 【豊穰のまち白石町セントラル地区(佐賀県白石町)】 【大津駅周辺地区(熊本県大津町)】 【国富地区(宮崎県国富町)等
同上(地震発生時の下水道の機能確保)	【大分県別府市等
環状道路等の整備	
【福岡都市高速道路((市)福岡都市高速5号線)(野芥ランプ～福重JCT)H22年度完成、(1号線～5号線 接続)H24年度完成(福岡県)、一般国道202号福岡外環状道路(福岡市)H22年度完成、黒崎道路(一般 国道3号黒崎バイパス)(皇后崎ランプ)H23年度完成(福岡県)、長崎南環状線((主)長崎南環状線)(田 上～新戸町)(長崎県)、長崎南北幹線道路((都)浦上川線)(幸町～茂里町)(長崎県)、熊本環状道路 【熊本西環状道路((一)砂原四方寄線)(花園工区、池上工区)(熊本県)】、(一般国道3号熊本北バイパ ス)(熊本県)、大分中央幹線道路((都)庄の原佐野線)(元町・下郡工区)(大分県)、宮崎東環状道路(一 般国道219号広瀬バイパス)(宮崎県)、鹿児島東西幹線道路(一般国道3号鹿児島東西道路)(鹿児島IC ～(主)鹿児島東市来線)H21年度完成、(鹿児島IC～建部)H24年度完成(鹿児島県)等	

重点目標 「拠点都市圏と多自然居住地域を結ぶ環境形成の促進」

- ・定住・交流人口の拡大による地域活力の向上に向け、都市と自然豊かな地域の互惠関係の形成に資する道路整備を進める。
- ・人々が集い憩える豊かで潤いのある都市・居住空間を創出するため、景観、自然との調和に配慮し、都市における魅力あるまちづくりを進める。
- ・都市と隣接する臨海部において親水緑地等の整備を進める。
- ・道路や河川、港湾、空港、官庁施設等の公共空間及び住宅・建築物へのユニバーサルデザインの考え方を踏まえたバリアフリー化を進める。
- ・「川の情報室」をはじめとして、河川流域内のあらゆる情報を広く住民が共有化する仕組み

を確立し、川の利用や活用を通して地域の交流・連携を進める。

【指標】

港湾空間の緑地整備率 【約45% (H19) 約50% (H24)】
特定道路におけるバリアフリー化率 【約48% (H19) 約75% (H24)】

【主要事業】

都市圏と多自然居住地域を結ぶ道路の整備

【有明海沿岸道路[(一般国道208号大牟田高田道路)(三池港～大牟田IC)H23年度完成(福岡県)、(一般国道208号高田大和バイパス)(福岡県)、(一般国道208号大川バイパス)(福岡県)、(一般国道208号大川佐賀道路)(福岡県、佐賀県)、(一般国道444号佐賀福富道路)(佐賀県)、(一般国道444号福富鹿島道路)(佐賀県)]、佐賀唐津道路[(一般国道203号巖木バイパス)(佐賀県)、(一般国道203号多久佐賀道路)期(佐賀県)]、熊本天草幹線道路[(一般国道57号熊本宇土道路)(熊本県)、(一般国道57号宇土道路)(熊本県)、(一般国道266号大矢野バイパス)(熊本県)]等】

河川事業(川の発見・再発見プロジェクト 川の情報室)

良好な景観を活用したまちづくり

【旧中尾家住宅(佐賀県唐津市)】

魅力ある街なみ環境の整備事業

【肥前浜宿地区(佐賀県鹿島市)】

【雲仙古湯地区(長崎県雲仙市)等】

景観、自然との調和を考慮した整備(まちづくり交付金)

【柳川駅周辺地区(福岡県柳川市)】

【日奈久地区(熊本県八代市)】

【日向市駅周辺地区(宮崎県日向市)】

【国分中央地区(鹿児島県霧島市)】

【原の辻遺跡周辺地区(長崎県吉崎市)等】

港湾緑地整備事業

【下関港あるかぼーと東港地区(山口県下関市)H21年度完成】

【北九州港門司港レトロ地区(福岡県北九州市)】

【博多港アイランドシティ地区(福岡県福岡市)H23年度完成】

【唐津港東港地区(佐賀県唐津市)H21年度完成】

【長崎港松が枝地区(長崎県長崎市)H22年度完成】

【郷ノ浦港郷ノ浦地区(長崎県吉崎市)H24年度完成】

【別府港石垣地区(大分県別府市)H22年度完成】

【大分港西大分地区(大分県大分市)H22年度完成】

【本渡港大矢崎地区(熊本県天草市)H21年度完成】

【名瀬港本港地区(鹿児島県奄美市)等】

バリアフリー対策(道路)

【香椎地区(福岡県福岡市)、唐津地区(佐賀県唐津市)、都心地区(長崎県長崎市)、熊本駅周辺地区(熊本県熊本市)、JR大分駅周辺地区(大分県大分市)、JR宮崎駅周辺地区・中心市街地地区(宮崎県宮崎市)、天文館通電停地区(鹿児島県鹿児島市)、黒崎副都心地区(福岡県北九州市)等】

重点戦略5 「多自然居住地域のゆとりある生活基盤づくり」

高齢化・過疎化が急速に進行している自然豊かな居住地域においては、日常的な生活基盤にユニバーサルデザインの考え方を踏まえたバリアフリー化を図るとともに、隣接市町村間や拠点都市圏へのアクセス向上を図り、安心して暮らせる定住環境を形成する。

また、中小都市については、海、山、川の豊かな自然環境を保全・活用しながら個性ある多様な地域を形成することなどにより、ゆとりある癒しの空間の形成を図る。

重点目標 「誰もがゆとりを実感できる生活基盤の確保」

- ・高齢者、障害者等に配慮した安全で快適な生活を実現するため、住宅や建築物のバリアフリー化を進める。
- ・子育て世代から高齢者まで誰もが暮らしやすい生活環境を形成するため、公園の整備や緑地の環境整備を推進する。
- ・豊かな定住環境の形成に向けて、定住基盤の整備を図るため、公共下水道、污水处理施設等の整備を推進する。

【指標】

園路及び広場がバリアフリー化された都市公園の割合	【39% (H19) 48% (H24)】
下水道処理人口普及率	【58% (H19) 64% (H24)】

【主要事業】

安全快適な住宅整備(優良建築物等整備事業)	【新世界(第二期工区)地区(福岡県久留米市) 【唐津大手口街区地区(佐賀県唐津市) 【本町三丁目地区(熊本県八代市)等
公営住宅のバリアフリー化の促進(地域住宅交付金)	【馬寄団地(福岡県北九州市) 【月浦団地(熊本県水俣市) 【原良団地(鹿児島県鹿児島市)等
公園におけるバリアフリー化の促進	【福岡県福岡市 【福岡県北九州市 【福岡県中間市 【長崎県長崎市 【熊本県天草市 【大分県大分市 【宮崎県宮崎市 【鹿児島県鹿児島市
下水道の普及促進	【福岡県北九州市 【長崎県壱岐市 【大分県大分市 【宮崎県宮崎市 【鹿児島県霧島市 【鹿児島県奄美市 【鹿児島県徳之島町等

重点目標 「離島・半島、中山間地域等における基礎生活圈との交通アクセスの確保」

- ・離島・半島、中山間地域における医療、教育、福祉など基礎的なサービスを楽しむために地域の生命線となる生活幹線道路ネットワークの整備を推進する。
- ・大型車等がすれ違えない峠区間の道路など幅員狭小区間や交通不能区間の解消に向け、地域の実情に応じ、1.5車線的な整備も活用しつつ、安心して暮らせる地域づくりに取り組む。
- ・離島等多自然居住地域にとって不可欠な生活・産業航路については、船舶の高速化・大型化への対応や就航率の向上等により輸送の安定性・効率性の確保を図る。

【指標】

第三次医療施設への60分カバー率	【約86% (H19) 約88% (H24)】
外海等離島航路の港湾整備率	【約55% (H19) 約70% (H24)】
土砂災害から保全される人命保全上重要な施設数	【約400施設 (H19) 約590施設 (H24)】

【主要事業】

生活幹線道路ネットワークの整備	
【島原道路[((一) 諫早外環状線諫早インター工区) (長崎県)、(一般国道57号森山拡幅) (長崎県)、(一般国道251号愛野森山バイパス) (長崎県)、(一般国道251号島原中央道路) (長崎県)]、西彼杵道路[(一般国道202号指方バイパス) (長崎県)、(一般国道206号小迎バイパス) (長崎県)]、大隅縦貫道(期)[((一) 鹿屋串良インター線串良鹿屋道路) (鹿児島県)、((一) 鹿屋環状線串良鹿屋道路2) (鹿児島県)、南薩縦貫道[((主) 鹿児島川辺線川辺道路) (鹿児島県)、((主) 穎娃川辺線知覧道路) (鹿児島県)] 等	
離島ターミナル整備事業	【巖原港巖原地区(長崎県対馬市) 【宮之浦港火ノ上山地区(鹿児島県屋久島町)
複合一貫輸送ターミナル整備事業	【比田勝港比田勝地区(長崎県対馬市)H23年度完成 【西之表港中央地区(鹿児島県西之表市)等
国内物流ターミナル整備事業	【郷ノ浦港郷ノ浦地区(長崎県壱岐市)H23年度完成 【福江港大津地区(長崎県五島市)H22年度完成
砂防事業	【桜島(鹿児島県鹿児島市)

重点戦略6 「多様な活動主体を基軸とした良好な社会資本の形成」

多様な活動主体の参加・参画による「個性を活かした多様な地域」に向けて、地域の歴史・文化・伝統などを活用し中心市街地の魅力を高めるとともに、豊かな自然環境を保全・活用する。

また、増大する社会資本ストックの老朽化等に対応するため、計画的な維持管理・更新を計画的、効率的に推進するとともに、地域住民やNPO等と連携しながら地域と一体となった活動を推進し、良好な公共空間の形成に努める。

重点目標 「多様な活動主体の参加・参画による創造性豊かな地域づくり」

- ・歩くことを通じた健康・福祉活動や魅力ある地域づくりを支援するため、歴史・文化施設を連絡する質の高い歩行空間の形成や街並みの保全・再生等を進める。
- ・多様な主体による道守活動等の取り組みを支援し、道を舞台として地域づくり、観光振興を図るため九州における「日本風景街道」を推進する。
- ・観光客等地域に不慣れな人への道案内のため、通り名称等を表示した地点標の設置やマップの作成等を推進する。

【主要事業】

みなとを核とした地域活性化プログラムの推進

【運河の魅力再発見プロジェクトや「みなとオアシス」の推進等】

道守活動等の取組を支援

【九州各県】

九州における日本風景街道の推進

【九州各県】

重点目標 「社会資本ストックの維持管理・更新の適正化及び効率的活用」

- ・地域住民やNPO等と連携し、地域と一体となった河川の水質浄化対策や河川や道路の維持管理等の活動を推進し、良好な水域の保全や道路環境の保全に努める。
- ・良質な社会資本ストックの形成を進めるため、ライフサイクルコストの縮減を図る「予防保全」の考えに立った戦略的な維持管理・更新を推進する。
- ・九州圏と他ブロックを結ぶ重要な関門海峡区間においても、道路施設の老朽化対策により災害・緊急時を含めた交通機能の確保を図る。
- ・既存高速道路ネットワークの有効活用・機能強化の観点から、ETCを活用しつつ、効果的な料金施策やスマートインターチェンジの増設等を実施する。

【指標】

道路橋の長寿命化修繕計画策定率

【約16%(H19) 概ね100%(H24)】

海岸保全施設の計画的な老朽化対策率

【約4割(H19) 約5割(H24)】

【主要事業】

河川維持修繕

【河川管理施設の計画的な維持・更新】

道路維持修繕

【長寿命化修繕計画に基づく道路橋の計画的な修繕】

港湾維持修繕

【港湾施設の長寿命化計画の策定】

海岸老朽化対策

【海岸保全施設の計画的な老朽化対策(機能向上、補強等)】

注1 地域住民団体等の「里親」が道路管理者と協定し、除草や植樹帯等の美化活動などを行うプログラム

注2 地域住民等が道路管理者と協定し、道路の清掃や植樹帯等の美化活動などを行うプログラム